

安全で快適な通行空間を確保・道路の防災性が向上！ ～国道488号（落合工区）令和6年8月完成～

国道488号は、島根県益田市を起点とし、益田市匹見町の中心部を経由する幹線道路であり、地域住民の日常を支える重要な路線です。しかしながら、当該区間は幅員狭小で線形も悪く、さらに落石の危険性も高いことから、車両の安全な通行に大きな支障となっていました。

このため、平成24年度より落合工区として道路改良事業に着手し、道路の拡幅と落石対策を進め、令和6年8月に完成しました。

この事業により、安全で快適な通行空間が確保され、道路の防災性が向上しました。



完成状況



標準断面図

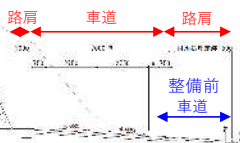
【事業概要】

- 事業年度：平成24年度～令和6年度
- 事業費：約23億円
- 事業箇所：益田市匹見町落合～匹見
- 道路規格：第3種第4級
- 設計速度：50km/h
- 計画幅員：7.0m

落石防護網

アンカー

整備後



Before: 車道が狭隘で危険、落石の恐れ

- 車道が狭隘で大型車との離合が困難であり、見通しも悪く非常に危険
- 山側は急峻な斜面であり、道路への落石の危険



After: 安全・安心な道へ

- 2車線改良、落石対策工事により、大型車とも安全に離合ができるようになり、落石に対する安全性も飛躍的に向上

